

今からでも遅くない!

バックオフィスのDXで企業価値向上

業務内容にあったITツールを使うことで
業務効率化を図り、企業価値向上に繋げることができます。



京都の未来をつくる「DX人材育成×産業創発」プロジェクト

日時：講座1 令和6年1月11日(木) / 講座2 1月25日(木) 13:30~16:30

場所：京都経済センター 4階会議室 4-F (京都市下京区四条通室町東入ル 函谷鉾町78)

定員：20名(参加費無料)

対象：業務担当者・求職者どちらもご参加いただけます。

- 講座1 及び 講座2 とも参加できる方とします。
- 申込者全員に対して受講可否をお知らせします。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンライン講座への変更もあり得ます。

申込方法

当財団HPの専用フォームからお申し込みください。

締切：令和5年12月22日(金)17時

先着順で定員になり次第締め切ります。



お問い合わせ

京都経済センター支所

本講座に関してのご不明点はお気軽にお問い合わせください。

✉ jinzai-tec@ki21.jp

☎ 075-708-3066

受付時間：9:00~17:00

DXって言葉は知っていても業務に活かせていますか？

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、**日々の業務をデジタル化して作業負担を減らし、企業価値を向上させること**です。DXを進めるとは日々の業務をどうITツールを使って楽にするかということになります。

会社のDX担当として、これからDXに取り組む方、業務を効率化したいという方向けに**DXとは何か、進め方、必要なITツールが分かる講座を開催**します。参加することで漠然とDXについて考えていた状態から、足元の業務を効率化する手段を手に入れる状態になることができます。



バックオフィスのDX推進講座のご案内

講座1

令和6年 1月11日(木)

DXの意義と効果について自社のDX計画の作成

中小企業においては、マーケティングや販路拡大などのフロント業務や売上向上に焦点が置かれがちですが、**デジタル化を通じたバックオフィスの効率化も重要**です。DXは、単に業務効率を向上させるだけでなく、納期短縮や品切れ防止による売上増、データ活用による不良品減少や品質管理向上、発注企業との信頼性向上など、企業価値向上に寄与します。講座1では、DXの重要性を理解し、自社のDX企画を作成します。

講座2

令和6年 1月25日(木)

ITツール導入プロセスとデータ活用法ITツール紹介と自社での活用方法

バックオフィスのDXは、**単にITツールの導入だけでなく、効率化の先にある企業価値向上に繋がります**。例えば生産管理システムの導入により、QCD (Quality(品質)、Cost(費用)、Delivery(納期)) 管理の効率向上が可能。これにより短納期や不良率低減が実現し、発注元との信頼向上に寄与。また、デジタル技術を用いた在庫管理精度の向上により、製品欠品の防止、機会損失の削減、売上向上、得意先との信頼性向上に繋がります。講座2では、ITツール導入の方法等を学習し、講座1で作成した自社のDX計画を実践するプランを作成します。

本講座について

本講座は、京都の未来をつくる「DX人材育成×産業創発」プロジェクトの一環として開催します。担当講師は企業の経営をサポートする中小企業診断士が行いますので、DXやバックオフィスの効率化についてのリアルをお伝えできます。

京都の未来をつくる「DX人材育成×産業創発」プロジェクトとは

急激な社会変化やデジタル化に対応できるよう、産業政策と労働政策を一体的に推進し、府内企業における新たな価値や新ビジネスの創造、DX化を促進することで、更なる産業活性化、生産性向上につなげ、質の高い雇用のための事業です。



詳細は、右のQRコードからアクセスしてください。
<https://www.ki21.jp/kkc/career/dx-jinzai2023-2/>

